

子ども達と地域の将来が心配です

「こまつドームのギャンブル場(競輪場)NO！」 の声をハッキリ示しましょう！

●ギャンブル依存症の拡大で、凶悪事件まで生まれています

ギャンブルにはまっていた石川県の青年が強盗殺人事件に関わっていた—このニュースに多くの方が胸を痛めたのではないのでしょうか。

この背景にあるのがギャンブル依存症です。依存症は、スマートフォン等の普及で増えつづけ、政府も「深刻な問題」と指摘しています。(右図)

市が今やるべきは、「子ども達が健やかに育つ環境をつくること」ではないのでしょうか。ギャンブル場をつくるのは、逆さまです。

* 日本のギャンブル依存症は、成人の4.8%、536万人で**世界最悪**
(2014年8月20日、厚労省)

* (2014年以降も依存症は増え続け)
「自己破産や家庭崩壊だけでなく、**自殺や犯罪等にもつながるなど、深刻な問題**が提起されている。

(ギャンブル等依存症対策推進閣僚会議:
2016年8月29日)

●ギャンブルにつき込む方が増え、地域経済も落ち込みます

●千葉市では(小松市に提案をもちこんだ会社が運営しています)

*競輪で「月1万円以上使う」方が全体の8割。

*「月5万円以上使う」方が全体の4割以上です

(2019年「千葉市こころの健康センター」調査)

「賑わいが出る」という方もいます。しかし千葉市の例で見ても、ギャンブルにお金がつぎ込まれ、地域で使われなくなります。

「市の収入が増える」といっても、そのもとは、「市民や来場者がつぎ込んだお金」です。ギャンブルにはまり、不幸になる方を増やすことで、市が潤う—これが自治体のやることでしょうか。



加賀市や野々市市、金沢市でもギャンブル場(場外車券売り場)計画は、市民の反対で中止になってきました。

私たちの街・小松市にギャンブル場はいりません。「ギャンブル場NO！」の声をハッキリ示しましょう。 **橋本よね子**

「ダメなものはダメ」とハッキリものを言う議席が、どうしても必要です

橋本よね子への支持を、一回り二回り広げて下さい **日本共産党**